

営業収益・・・194億円(前年同期比2.8%増)、カード・ショッピングクレジット・ペイメント事業は順調に取扱高を伸ばし、増収基調が継続。  
営業費用・・・175億円(同6.0%増)、システム関連費用・トップライン拡大に伴う原価性費用が増加。  
営業利益・・・18億円(同19.9%減)、経常利益・・・18億円(同20.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益・・・7億円(同21.1%減)。

1. 要約損益計算書

(単位:億円)		FY2018		FY2019		FY2019業績予想*		
		1Q	1Q	1Q	1Q	2Q累計	進捗率	
営業収益	1	188	194		2.8%	390	49.8%	800
営業費用	2	165	175		6.0%			
販売費及び一般管理費	3	159	168		5.5%			
人件費・物件費等	4	124	132		5.8%			
クレジットコスト	5	34	36		4.6%			
貸倒引当金繰入額	6	34	36		4.6%			
利息返還損失引当金繰入額	7	-	-		-			
金融費用	8	6	7		17.5%			
営業利益	9	22	18		-19.9%	29	63.5%	87
経常利益	10	23	18		-20.1%	29	63.7%	87
親会社株主に帰属する四半期純利益	11	9	7		-21.1%	14	51.3%	70

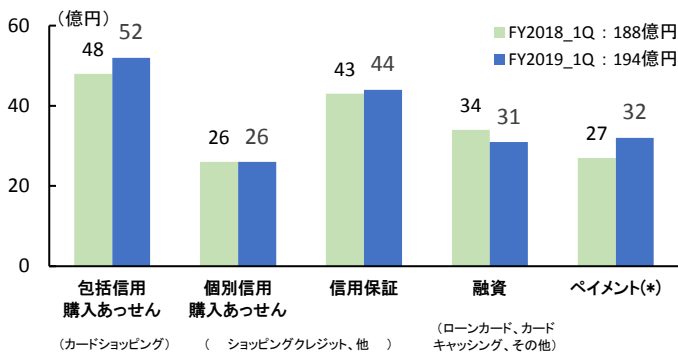
\*2019年5月15日公表

(中期経営戦略の基本方針) 価値共創による成長追求と経営資源の最適活用による提供価値の最大化

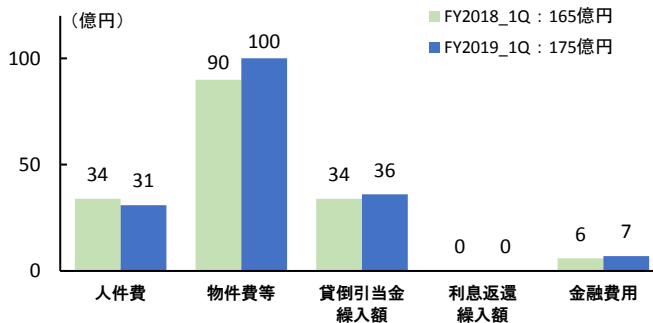
- 【ショッピングクレジット】
  - ・ベンダーリース、個人向けオートリースの営業活動を強化。オートローン以外の取扱高が伸長。
- 【カード】
  - ・TSUTAYAフランチャイズ店との連携強化や、その他提携先との提携カードの獲得強化。
  - ・「2.5次元」舞台で活躍する人気俳優のオフィシャルクレジットカード「2.5Dカード」の発行を開始。
- 【ローン(ハウジング含む)】
  - ・「リバースモーゲージ型住宅ローン」等の新商品の営業を推進。
  - ・投資用マンションローンの厳格な与信運営による良質債権の積上げ。
- 【ペイメント(\*)】
  - ・モバイル決済サービスは、中国発の「Alipay」「WeChat Pay」、国内の「LINE Pay」「PayPay」「d払い」に加え、新たに「メルペイ」の取扱を開始し、対応力を強化。
  - ・口座振替やコンビニ決済等の集金代行ビジネスは安定的に業容拡大。

2. 部門別営業収益

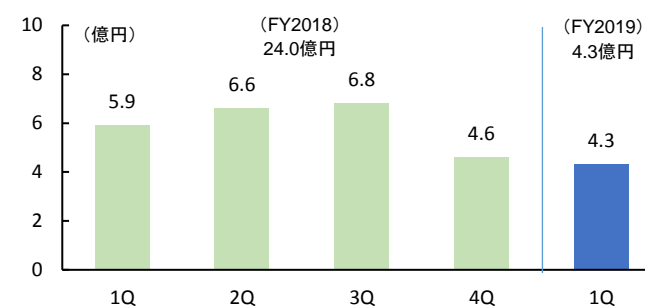
※グラフには金融・その他収益を含まない



3. 営業費用内訳

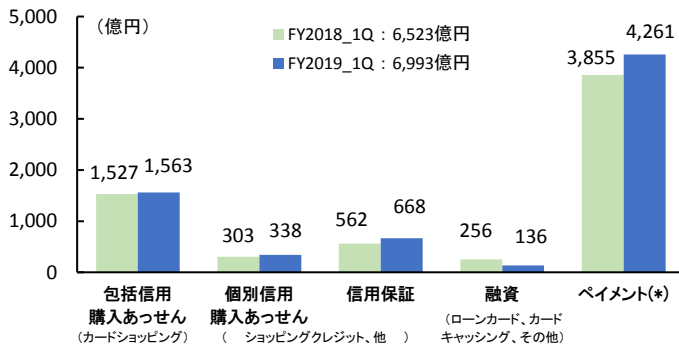


4. 利息返還実績四半期推移



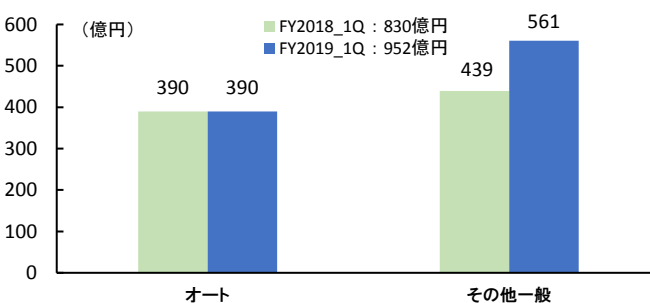
5. 部門別取扱高

※グラフにはリース・その他取扱高を含まない

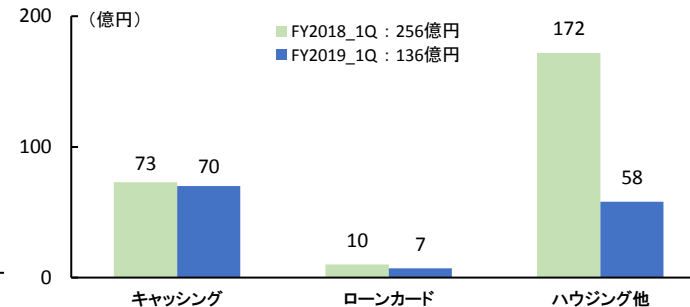


6. ショッピングクレジット取扱高内訳

※「個別信用購入あっせん」と「信用保証」の一部



7. 融資取扱高内訳



(\*) ペイメント・・・集金代行(コンビニ、口振)、家賃保証、プリペイドカード、コード決済 など